

6月12日(土)、13日(日)は「吉原祇園祭」

250年の伝統を誇る 東海一の祇園!!

吉原宿かわら版

月刊

静岡県富士市中央町1-6-16
吉原商店街振興組合内
吉原宿かわら版編集部
電話(0545)51-5227
FAX(0545)51-5991

無料

富士市に夏の訪れを告げる、吉原祇園祭(通称おてんのうさん)の季節がやって来る!各町内が飾り立てた20台の「山車(だし)」の引き回しや各神社の「神輿(みこし)」が練り歩き、吉原商店街には200軒を越す露天が並び、人も延べ20万人に達する賑わいだ!



太鼓の叩き合いはド迫力だ!
20台もの山車が吉原に集結する!

吉原旧町名乃図

五社22町内
○印は各町内の会所

6月12日(土)	6月13日(日)
PM1:00 山車(だし)引回し(20台)	PM1:00 神輿(みこし)
PM6:00 山車(だし)引回し(20台)	PM3:00 木遣(きやり)
	PM6:00 山車(だし)引回し(20台)

木之元神社	天神社	八坂神社
新追町	本町一丁目	東本通一、二丁目
西仲町	本町二丁目	八幡神社
日吉町	本町三丁目	東本通三丁目
昭和通	宮町	山神社
住吉町	大和町	依田原一、二丁目
六軒町	幸町	依田原二丁目
西本通	南町	依田原三丁目
伝馬町		依田原四丁目
新追町		

PM1:00 ~ PM9:00まで交通規制が各所で行われるので注意してほしい。
主催 / 吉原祇園祭五社協議会
協賛 / 富士市観光協会・吉原商店街振興組合
後援 / 富士商工会議所 協力 / J R 東海・岳南鉄道
Special Thanks / 五社青年長会議

祭に参加している者にとって、吉原祇園祭の正にメインイベントとなるのが、日曜日午後の神輿だ。まず神事の後の町内の青年長により神輿が清められる。この際の清めの塩海水は当日の早朝、浜浜行きのバスで、浜おりと呼ばれる儀式で海から汲んできた塩水だ。そして青年長自ら頭から塩水をかぶり、神輿の担ぎ出しとなる。担ぎ出しのときに、宮太鼓(呼太鼓)を打ちながら町内もあつち。

「けんか神輿」と呼ばれ、例えば浅草の三社祭のような正然とした担ぎ方とは全く異なっている。各神社に1台ずつある神輿を氏子町内が、各会所から順番に担いで行くが、隣り合った神社の境界線を超えることは御法度だ。とにかく荒っぽい担ぎ方なので、神輿を見物

祭だ! 神輿(みこし)だ

祭に参加している者にとって、吉原祇園祭の正にメインイベントとなるのが、日曜日午後の神輿だ。まず神事の後の町内の青年長により神輿が清められる。この際の清めの塩海水は当日の早朝、浜浜行きのバスで、浜おりと呼ばれる儀式で海から汲んできた塩水だ。そして青年長自ら頭から塩水をかぶり、神輿の担ぎ出しとなる。担ぎ出しのときに、宮太鼓(呼太鼓)を打ちながら町内もあつち。

「おてんのうさん」がやってくる!!

「吉原祇園祭」は通称「おてんのうさん」と呼ばれ、250年余りに渡って親しまれてきた祭だ。この祭は、京都の祇園祭の流れを汲み、悪霊・疫病を退散させる祈りが、祭の形となつて受け継がれたもので、東海道の旧吉原宿周辺の木之元神社、天神社、八坂神社、八幡神社、山



各町内自慢の山車に注目! 太鼓の叩き方も微妙に違

吉原商店街ホームページ
<http://www.yoshiwara.net/>
 E-mail rainbow@yoshiwara.net

